



# MISSION DAY TAKAOKA

2019.9.21

## 高岡駅周辺マップ



- #01 高岡駅
- #02 御旅屋通
- #03 高岡大仏
- #04 山町筋
- #05 有磯正八幡宮
- #06 金屋町
- #07 瑞龍寺
- #08 八丁道と前田利長公墓所
- #09 藤子不二雄の始まりの地、定塚町
- #10 高岡城
- #11 高岡万葉まつり
- #12 高岡市美術館
- #13 高岡おとぎの森公園
- #14 新高岡駅と瑞龍寺道
- #15 万葉線
- #16 勝興寺
- #17 高岡市万葉歴史館と氣多神社
- #18 雨晴海岸

チェックアウト時に受付スタッフへお渡しください

※この用紙でチェックアウトを受ける場合は地図ごと回収されます。  
地図用と提出用を用意されるか、「QR-PASS」を別途印刷してお持ちください。

1	事前登録の有無	あり · なし	→なしの方は、今から参加登録ページ(RSVP)にて登録をお願いします。	
2	AGENTNAME	数字の0、1、2は✓ 英字のO(オー)、I(エル)、Zは✓		
3	ここより下はスタッフが使用しますので記入不要です。 <input type="checkbox"/> スキャナとのAG名確認 <input type="checkbox"/> ミッションクリア確認			



# MISSION LIST

## MISSION DAY TAKAOKA



### #01: 高岡駅



高岡駅前から御旅屋通りまで辿ります。高岡駅はJR西日本、あいの風とやま鉄道、万葉線が乗り入れ新幹線開通後も高岡市の玄関口として栄える駅です。

図1



図1



図2

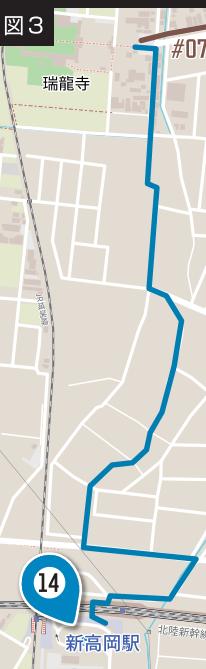


図3

### #07: 瑞龍寺



高岡駅から瑞龍寺まで辿ります。瑞龍寺は高岡を開いた加賀藩2代藩主前田利長公の菩提寺として1614年(慶長19年)に創建されました。富山県で初の国宝に指定されています。

図2

### #13: 高岡おとぎの森公園



公園内をぐるっと一周巡ります。高岡おとぎの森公園の園内には千保川が流れ、春と秋にはバラが見頃を迎えます。そしてドラえもんのキャラクター像を設置した空き地風の広場もあります。

### #02: 御旅屋通り



御旅屋と書いて「おたや」と読みます。御旅屋通りから高岡大仏まで辿ります。高岡御旅屋は1615年頃、加賀藩主が高岡に宿泊するために作られました。現在は全蓋式アーケードの商店街になっています。

図1

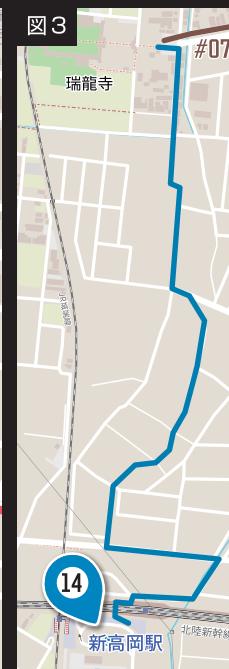


図3

### #08: 八丁道と前田利長公墓所



八丁道から前田利長公墓所まで辿ります。八丁道は瑞龍寺と墓所を東西に結ぶ参道です。距離が約八丁(870m)であることから八丁道と呼ばれています。

### #14: 新高岡駅と瑞龍寺道



新高岡駅から瑞龍寺まで辿ります。新高岡駅は2015年(平成27年)に北陸新幹線金沢延伸と同時に開業しました。高岡市の新しい玄関口です。国宝瑞龍寺もぜひ拝覗してみてください。

### #03: 高岡大仏



高岡大仏から高岡市土蔵造りのまち資料館まで辿ります。高岡大仏は高岡銅器製造技術の粋を集め、1907年より26年かけて完成しました。日本三大仏に数えられています。

図1

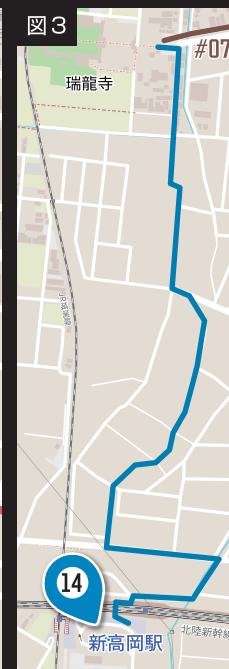


図3

### #09: 藤子不二雄の始まりの地、定塚町



定塚町周辺を辿ります。藤子・F・不二雄先生が幼少期を過ごしたのが定塚町です。定塚小学校に藤子不二雄A先生が転校してきたことがきっかけで藤子不二雄という名コンビが生まれました。

### #15: 万葉線



ミッションは歩くでも可能ですが、高岡駅から広小路電停まで路面電車に揺らしてみませんか。万葉線は高岡市と射水市を結ぶ第三セクターの路面電車です。万葉線の名物は何と言ってもドラえもんトラムです。

### #04: 山町筋



菅野家住宅から横田橋まで辿ります。山町筋は1609年の高岡開町以来の商人町です。高岡御車山祭を奉じていることから山町と呼ばれ、土蔵造りの家々が立ち並ぶ重要な伝統的建造物群保存地区に選定されています。

図4

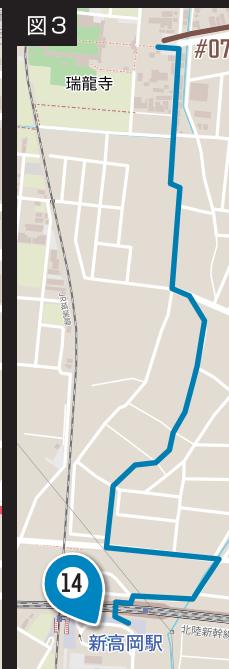


図3

### #10: 高岡城



公園の入口から絵筆塔に寄り本丸広場の前田利長公像を辿ります。高岡城は1609年に前田利長の隠居城として築城されました。公園内には無料動物園もあります。  
<深夜など暗い時間の園内は十分に注意して下さい。>

### #16: 勝興寺



伏木駅から勝興寺手前まで辿ります。勝興寺は戦国時代に越中一向一揆の拠点となつた寺で、中世城郭寺院の威勢を示して風格を誇る国指定文化財です。現在は復元工事を行っています。

### #05: 有磯正八幡宮



石燈籠から萬年山宗泉寺まで辿ります。有磯正八幡宮は1610年に有磯宮と横田正八幡宮の二社を合祀した神社です。国の登録有形文化財に指定されています。

図4

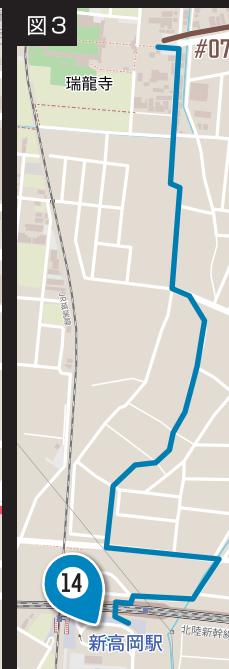


図3

### #11: 高岡万葉まつり



万葉集の代表的な歌人大伴家持ゆかりの地高岡では公園の濠の特設水上ステージで万葉集全4516首を三昼夜かけて歌う高岡万葉まつりが行われます。  
<深夜など暗い時間の園内は十分に注意してください。>

### #17: 高岡市万葉歴史館



万葉歴史館から氣多神社を経て国道415号線に向かいます。高岡市万葉歴史館は日本初の万葉集をテーマにした歴史館です。氣多神社は崇敬高い古社で、国の重要文化財に指定されています。

### #06: 金屋町



金屋上町地蔵尊から鳳の像まで辿ります。金屋町は1609年に元加賀藩主前田利長が鎧物造りを奨励した高岡鎧物発祥の地です。鎧物師町では初めて、国的重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

図4

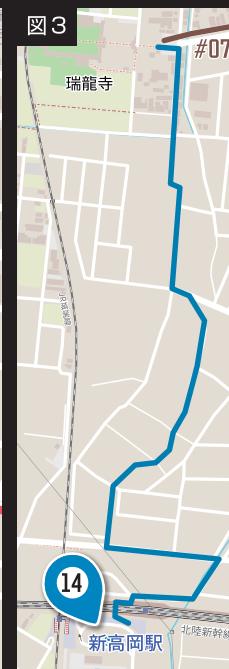


図3

### #12: 高岡市美術館



高岡古城公園から高岡市美術館まで辿ります。高岡市美術館は高岡生まれの作家の工芸作品や郷土美術に大きな影響を与えた作家やその作品、若手作家の作品を収集展示了した美術館です。

### #18: 雨晴海岸



「雨晴」と書いて「あまはらし」と読みます。雨晴駅から道の駅雨晴まで辿ります。富山湾越しからの標高3,000m級の立山連峰を見ることができたら忘れられない思い出になるはずです。

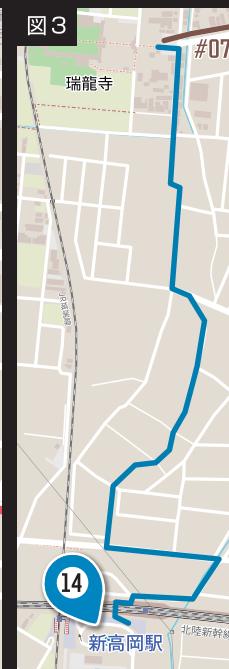


図3

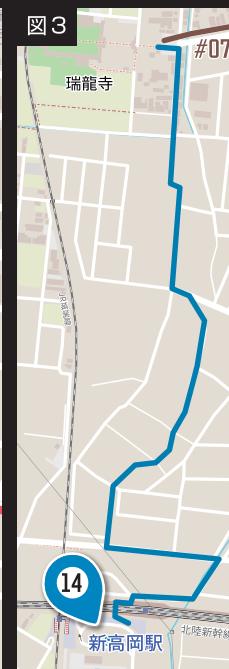


図3

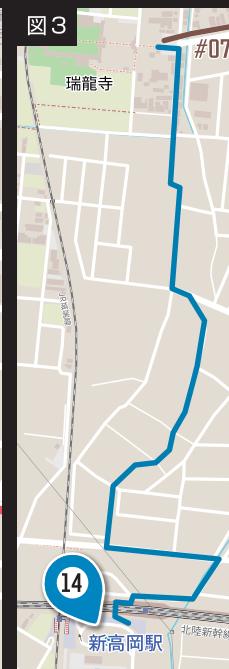


図3

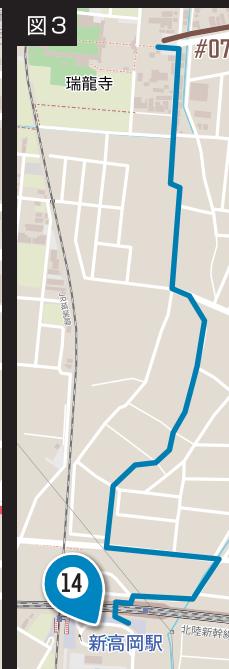


図3

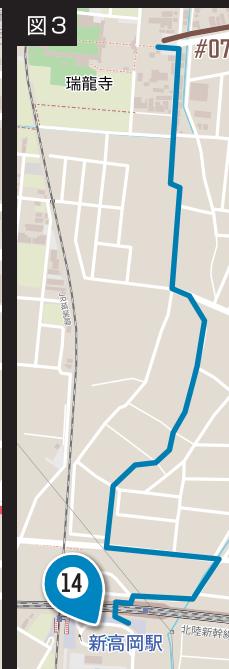


図3

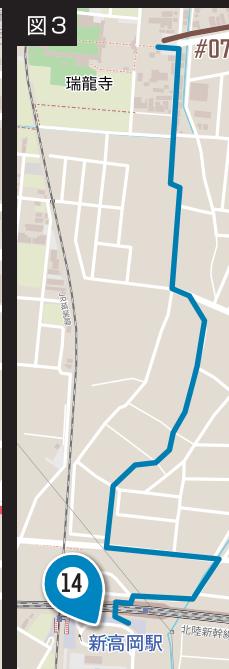


図3

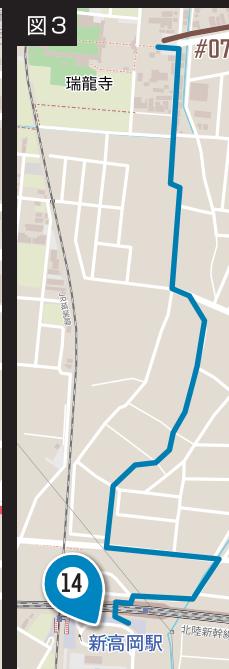


図3

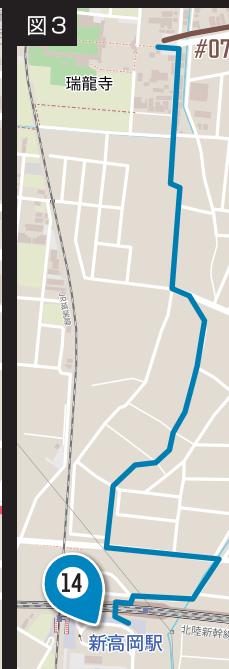


図3

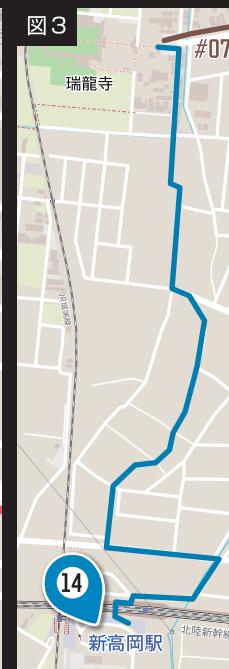


図3

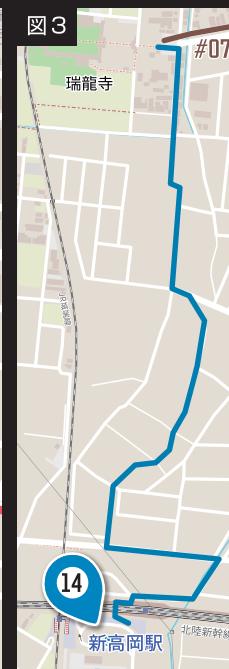


図3

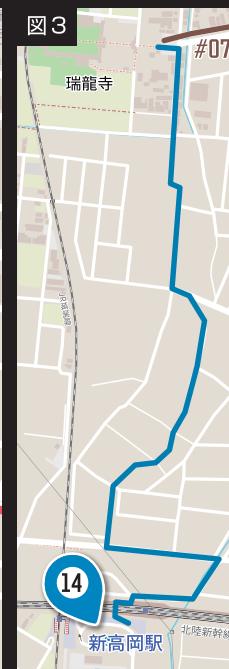


図3

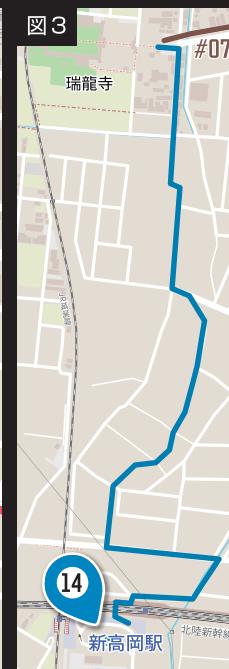


図3

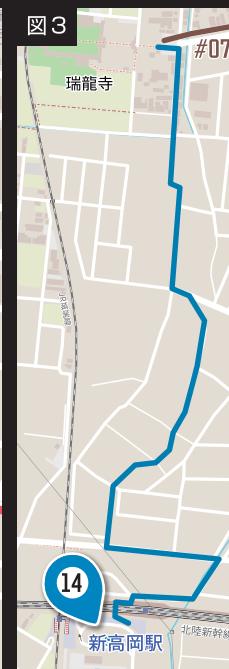


図3

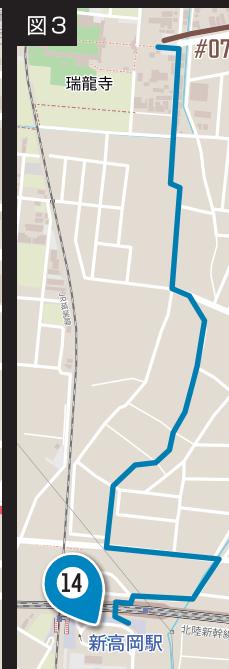


図3

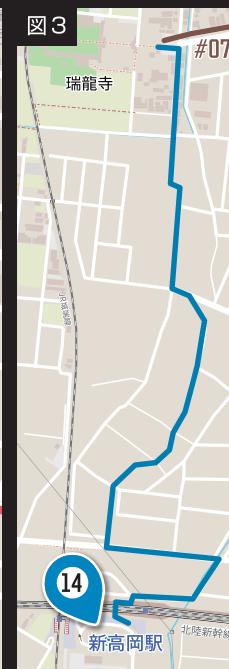


図3

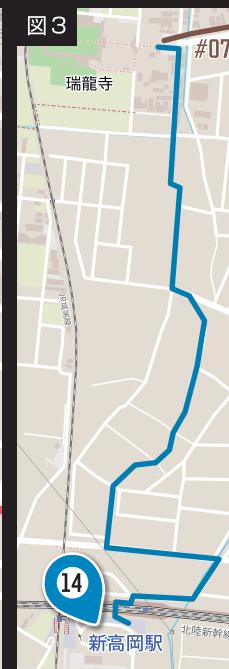


図3

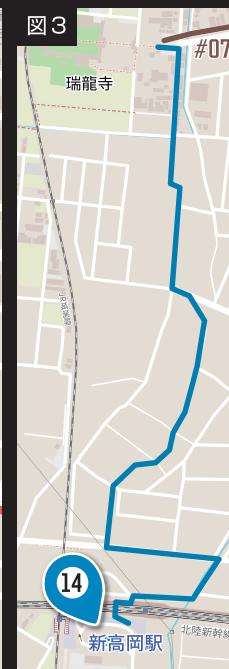


図3

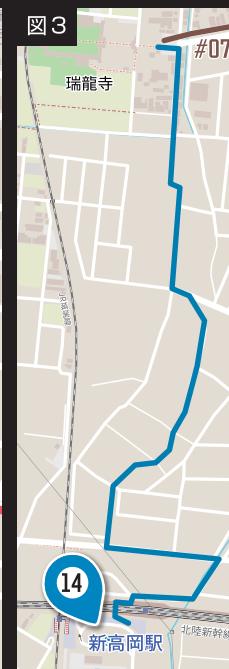


図3

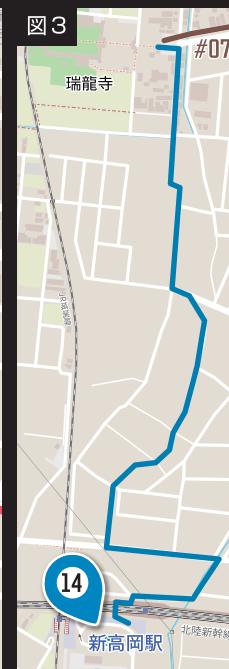


図3

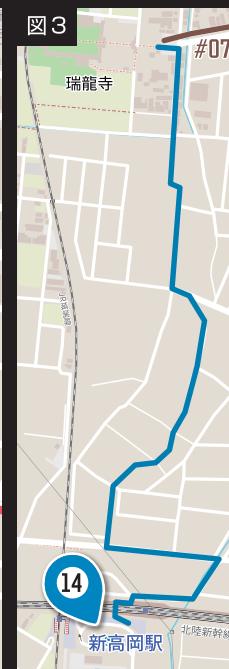


図3

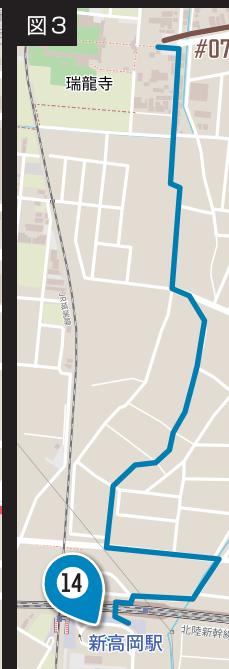


図3

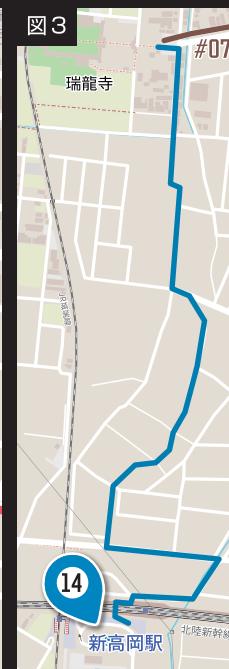


図3

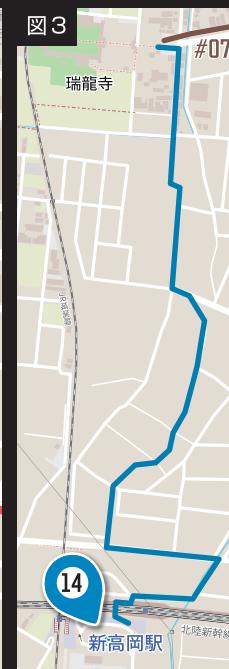


図3

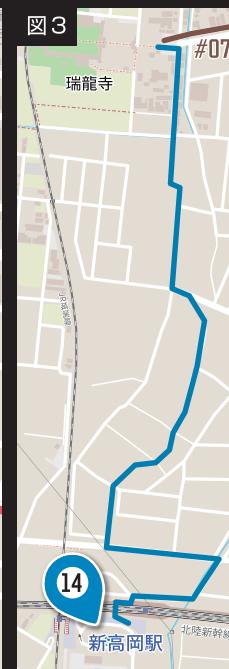


図3

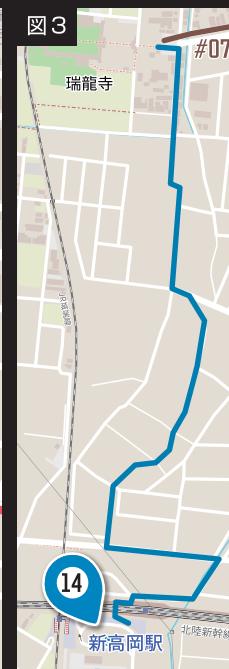


図3

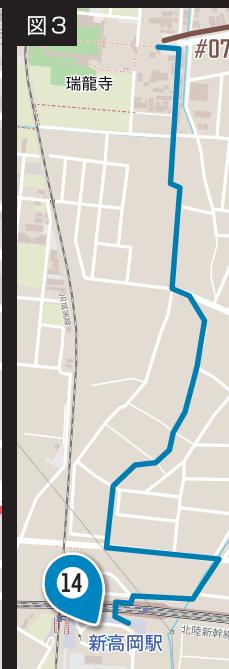


図3

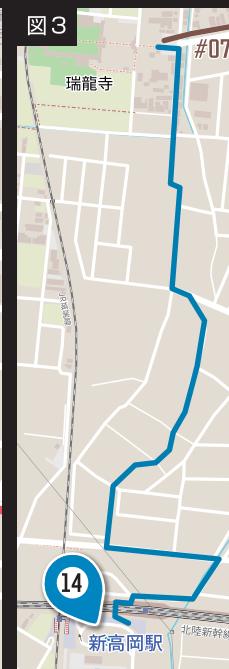


図3

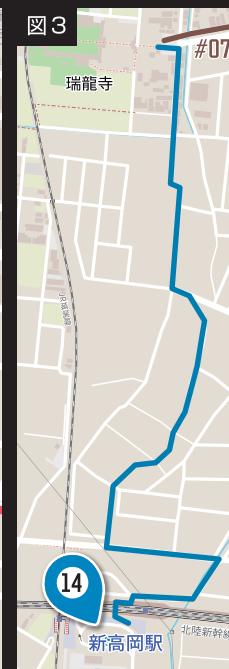


図3

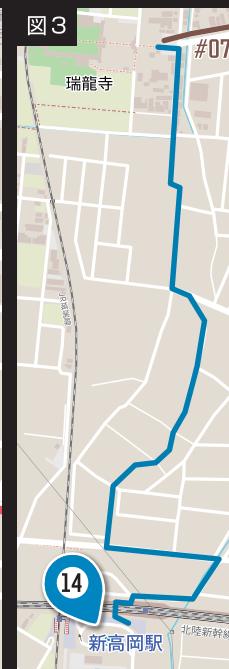


図3

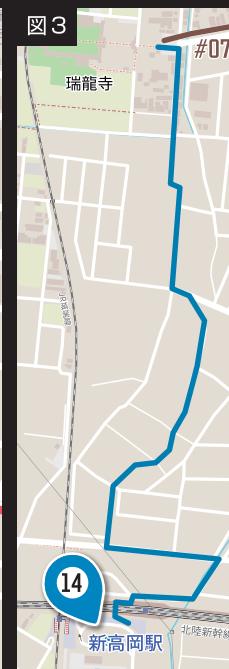


図3

